

小学校低学年向けメディア・リテラシー教育入門教材 「うっきーテレビたんけん」

監修：無藤 隆
(お茶の水女子大学教授)

企画制作：駒谷 真美
(お茶の水女子大学大学院人間文化研究科)

教材の目的

- ①「総合的な学習の時間」でメディア・リテラシー教育の授業を実践する際の手助け
- ②メディア・リテラシーの基本的構成要素である「メディアを主体的に読み解く力」の育成

教材の種類

- ①メインの先生用教材(ビデオ30分・ガイドブック)メディア・リテラシー教育を初めて教える先生方対象
- ②補助の授業用教材(ビデオ14分・アクティビティシート)「総合的な学習の時間」初年の小学3年生対象

先生用教材

ビデオ メインキャラクターの「うっきーちゃん」が子どもたちと同じ目線に立ってテレビたんけんをする。
・前半は、メディア・リテラシー教育に不慣れな先生方も安心して指導できるように、概論から教材の特徴までわかりやすく説明している。
・後半は、視聴するだけで授業がイメージできるように、授業用ビデオの映像に加え、授業のねらい・流れ・指導ポイントをたんけんごとに簡潔にまとめている。
・たんけんは、2部構成の短期入門カリキュラム(総時数11~14時間、1時間=45分授業)にて構成されているので、学期内に無理なく活用できる。

たんけん①「今何がはやっているの？」6~7時間—子どもの興味関心に関わる内容領域

・CMやキャラクターグッズ商業的意図やしぐみを知る

たんけん②「テレビのウソ?ホント?」5~7時間—子どもの社会性の発達に関わる内容領域

・テレビ番組(アニメ・ドラマ・ニュース)の空想と現実について、暴力面も含めて考える

ガイドブック

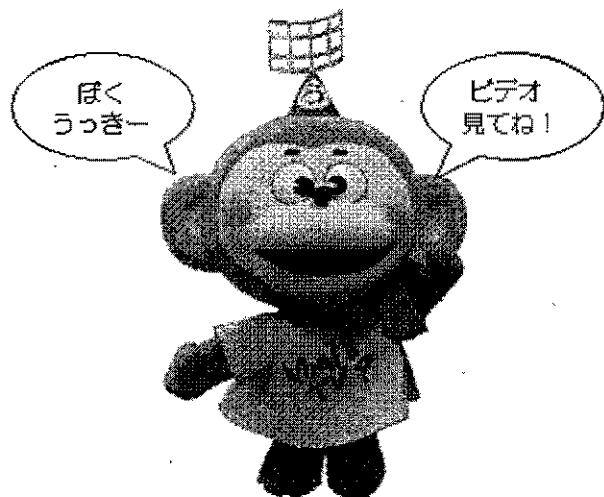
ビデオに準じ、先生方が短時間に授業プランを計画できるように、学習活動案に加えてアクティビティシート(たんけんメモ・発見ノート)の見本も提示している。

授業用教材

ビデオ 授業導入時に視聴し(各たんけん6~7分間)子どもたちが楽しみながら要点を理解するのを助ける。

アクティビティシート

・たんけんメモに沿って自分の考えをまとめグループで話し合うことで、能動的かつ主体的な学びができる。
・たんけんメモや発見ノートを元に、CMやキャラクターグッズを制作したり、ニュースやドラマなどの番組を企画したりすることで、メディアの受け手から作り手への意識が芽生え、総合的かつ体系的な学びにつながる。



designed by Mami Komaya

実践に向けて

実践希望の学校やクラスのために説明会やワークショップを検討中。本教材を通して、一人でも多くの先生方がメディア・リテラシー教育に興味を持たれて、活用してもらえればと望む。

問い合わせ先

お茶の水女子大学生生活科学部

無藤隆研究室 駒谷まで

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

Phone: 03-5978-5782, Fax: 03-5978-5783